

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	茨木物流センター再開発プロジェクト	階数	地上4F
建設地	大阪府茨木市郡4丁目283番1	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	360人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,500時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年1月 予定	評価の実施日	2017年9月15日
敷地面積	19,738 m ²	作成者	(株)フジタ 小久保昌児
建築面積	9,856 m ²	確認日	2017年9月15日
延床面積	37,325 m ²	確認者	(株)フジタ 小久保昌児



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.0

Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.1

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.7

LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.1

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合	茨木市に新設される物流センターの計画である。高効率設備の採用により高い省エネ性能を実現すると共に、音環境や空気質環境向上に努め利用者の快適性向上に配慮した。また緑化計画により室外環境の向上にも配慮している。	その他 特になし。
Q1 室内環境	開口部遮音性能、吸音性のある仕上材の採用による音環境の向上に配慮した。ゾーン別に制御できる空調システムで温熱環境に配慮した。化学汚染物質を含まない建材の採用や自然換気性能の向上で空気質環境に配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地周囲に自生種や植栽条件に応じた植栽を計画し緑の量を確保すると共に、景観へ配慮した。
LR1 エネルギー	高効率設備の採用によりエネルギー消費量の削減に配慮した。	LR3 敷地外環境 LCCO ₂ 排出量の削減に配慮した。
Q2 サービス性能	十分な天井高を確保し利用者の快適性に配慮した。階高、壁長さ比率、荷重に十分なゆとりがありフレキシブルな計画となっている。	
LR2 資源・マテリアル	仕上げ材にリサイクル材や再利用可能ユニット部材を採用し省資源に配慮した。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2017年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H29-0087

Osakafu-新築・既存 2017V1.0

【建物概要】		建物名称	茨木物流センター再開発プロジェクト					
		建設地	大阪府茨木市郡4丁目283番1					
		用途/区分	事務所 工場					
【評価結果】	CASBEE 総合評価	★★★★☆				A		
	CO2削減	★★★★☆				4		
	省エネ対策	★★★★☆				4		
	みどり・ヒート アイランド対策	★★★★☆				3		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—		
	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		
エネルギー消費量の報告						報告しない		
【評価項目】								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容			スコア	評価		
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価			3.9	4		
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価	建物全体	3.0	4			
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価		4.2				
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価		3.0				
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価		5.0				
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価		2.5				
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価		3.0				
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。			報告する 報告しない	報告しない		
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容			スコア	評価		
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価			3.0	3		
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価			2.0			
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価			3.0			
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項		高効率設備の導入により、省エネ対策及びLCCO2排出量の削減に配慮した。						